

牛久市総合教育会議議事概要		日時	令和6年12月24日（火曜日）
件名	令和6年度第2回牛久市総合教育会議	場所 時間	牛久市役所 本庁舎3階庁議室 午後3：00～午後3：55
出席者	(出席者) 沼田市長、川村教育長、吉原教育長職務代理者、八木橋教育委員、宮本教育委員 (事務局) 小川教育部長、吉田教育委員会次長、高橋教育委員会次長、教育総務課宮嶋課長補佐、小河原主査 糸賀経営企画部長、淀川経営企画部次長兼政策企画課長、政策企画課高橋主任、坂入主事補 (傍聴者) 0名 (順不同・敬称略)		
	議事内容 (1) 教育大綱（案）の策定について、第2期牛久市教育振興基本計画策定の進捗報告について (2) その他		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 議事 (1) 教育大綱（案）の策定について及び第2期牛久市教育振興基本計画策定の進捗報告について 上記について川村教育長及び事務局より説明を行い、出席者が意見を述べる。 なお、主な意見は以下のとおりである。 - 全体的にすごくわかりやすい表現になっているように感じた、基本計画の今までのオーバーラップしているようなところも整備されているようでわかりやすくなっている。パブコメに出す際は、大綱内の表現の意図等について注釈をいれても良いのではないかな。 - 全体的に見ても、現行の大綱より具体的でどんなことを推進していきたいかがより明確になったと思う。これらを令和9年度までにできるだけ多く実現し、牛久の子供たちがサブタイトルにもあるように、未来を自分らしく生き、社会の問題を解決できる人に育ってくれたらと思う。 - 自己調整学習を推進していくにあたって、生徒間に学力格差が生じていく可能性がある。それらについては、教員と保護者も含めて十分理解したうえで進めていく必要がある。 - 子供の意見表明権を重視した取り組みを推進するにあたって、子供たちに自分の意見を表明する権利を保障するということは、大人側にそれをきちんと保障するだけの組織を構築しておかなければならない。それをどこまで、学校現場、行政現場で構築していくのかということまで踏み込んで考えていかなければならない。 8ページの項目に「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」とあるが、これについて保護者の方が過剰な捉え方をしてしまう可能性がある。この10の姿はあくまでも目安であって、達成しなければ			

駄目だという間違った発信をしないように、幼稚園、保育所、小学校、そして保護者にきちんと伝わる手立てを取っていただきたい。

・

(2) その他 今後の予定について

上記について川村教育長及び事務局より説明を行う。説明は以下のとおりである。

- ・ 総合教育会議については本会議のほか年度内にあと2回行う予定である。パブリックコメントについては令和8年1月末から行う予定であり、教育大綱について今回素案を示させていただいたが、教育振興基本計画との整合性をとりながら、それらを踏まえた形のものをもう次回会議にてもう1回見ていただく形としたい。次回会議にて意見をいただいた後にパブリックコメントを開き、最終的にいただいた意見を反映するかしないかを第4回会議にて諮ればと思う。

4. 閉会